

1

スムーズにグループワークを始められる準備をしておきましょう

土曜学習のプログラムにはプログラム⑤を除いてグループでのワークが含まれています。座席をグループワークのしやすい配置にして、ワークシートを各席に配付しておくなど、すぐにグループワークを始められる態勢を整えておきましょう。

2

講師＋サポーター(アシスタント)の体制で取り組むと良いでしょう

メイン講師に加えてサポーターに入ってもらいたいでしょう。各グループに一人のサポーターをつけることが可能であれば、さらに進行をスムーズに行うことができます。

3

発言はできるだけ板書をしましょう

参加者の意見や考えなど、発言は板書をして可視化すると、全体での共有がスムーズになります。講師自身の把握のためにもできるだけ板書をしましょう。

4

発言には必ず反応をしましょう

参加者からの発言には、「なるほど」や「そうだね」など、相槌をうったり短いコメントをしたり、必ず何らかの反応を返すようにしましょう。参加者の意欲が高まります。

5

ワークを無理強いしないようにしましょう

ワークへの参加や意見を述べることを嫌がる参加者がいる場合、無理にさせなくてもかまいません。予定されているワークのすべてに参加させるより、楽しい学びを体験してもらうことを重視しましょう。

6

どんな意見も否定せず受け止めましょう

自分が認められていると感じることは、参加意欲の向上だけではなく、参加者の自信や自己肯定につながります。「なるほど」や「そうだよね」などの肯定的な反応で、参加者の主体的な学びにつなげましょう。

7

時間のアナウンスをしましょう

参加者の混乱をさけ、スムーズな進行のために、ワーク開始時に各ワークでの活動時間のアナウンスをしましょう。また、ワーク開始と終了がわかるように声掛けを行い、メリハリのある進行を心がけましょう。

8

参加者が分かりやすい言葉に言い換えましょう

対象学年に合わせて理解のできる言葉に言い換えることで、参加者の理解が深まります。具体的な例をあげたり、補足説明をつけたりしましょう。

9

言葉遣いに気をつけましょう

地域性によって気をつけることは異なりますが、保護者の職業に関する質問や家庭環境への言及は避けましょう。また、ジェンダーや在日外国人など人権への配慮も必要です。

10

講師の皆さん自身が楽しみましょう

参加者に楽しい学びの場を提供するためには、まず、講師の皆さんが楽しんで進行しましょう。予定どおりに進まなくても問題はありせん。自分流にアレンジをして、楽しみながら実施をしてください。